

信頼のネットワーク、JAバンク

JA埼玉中央の現況

上半期 ディスクロージャー誌

2018

平成30年4月1日～平成30年9月30日



©ちょリス

経営理念

「食」と「農」と「環境」を守り、地域の発展に貢献します。

- * 地域農業戦略に基づき、農業所得の向上に努めます。
- * 組合員・地域住民のくらしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を展開します。
- * 経営の健全性の確立のため、ＪＡ経営の変革に努めます。

1. 組合員と地域のみなさまとともに!!

ＪＡ埼玉中央は地域社会の一員として、地域のみなさまとともに歩んで行きます。

ＪＡ埼玉中央は、東松山市、比企郡、秩父郡東秩父村を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

ＪＡ埼玉中央では、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

ＪＡ埼玉中央は、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

また、ＪＡ埼玉中央は、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やＪＡの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っています。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んで行きたいと思っています。

トピックス

■グラウンドゴルフ県大会で大健闘

5月29日、年金友の会グラウンドゴルフ大会がくまがやドームで行われ、県内64チームの強豪が揃う中、当JAからも5チームが参加しました。熱戦を繰り広げた結果、個人の部において第3位と第5位の好成績を収めました。



■特殊詐欺撲滅に向けて

7月11日、東松山警察署生活安全課の警察官を講師に迎え、支店長ら33人を対象に特殊詐欺対応研修会を開催しました。参加者は、多発する振り込み詐欺・還付金詐欺などから利用者を守るため、熱心に耳を傾けメモをとっていました。



■大自然を満喫、夏休みこども村

7月25～27日、「夏休みこども村」が群馬県片品村で行われ、管内の小学生111名が参加しました。子供たちは、魚つかみ体験やスイカ割り、野菜の収穫などを楽しみ、大自然の中で3日間を元気いっぱいに過ごしました。



■初の試み、えだまめ栽培

8月5日と12日、ふれあい活動の一環として初開催した、親子農業体験教室「えだまめ栽培」の収穫祭が各地で行われました。参加した親子は自分たちで種まきをして成長した枝豆を力いっぱい引き抜き収穫を楽しみました。



■アフリカから視察研修

8月31日、アジア・アフリカ諸国の農業政策立案に携わる行政官6名を視察研修生として受け入れました。研修生は東松山直売所を訪れ、地元農産物を使用した食事を楽しみ、農産物などの販売現場を視察しました。



2. 安心のバロメーター

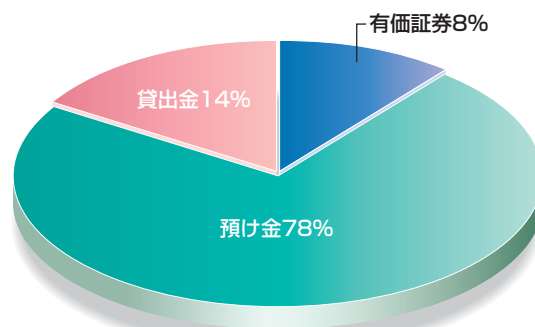
安心 その1

JA埼玉中央は、地域の多くのみなさまより信頼をいただき、貯金は2,783億円です。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しております。

H30.9月期のJA埼玉中央の運用資産構成

(単位：百万円)

	H29. 9月期	H30. 3月期	H30. 9月期
貯 金	272,747	275,859	278,349
貸 出 金	37,592	38,578	38,379
預 け 金	214,721	217,182	221,489
有価証券	24,135	22,903	22,795



注1. 貸出金には貸付留保金を控除しております。

1 売買目的有価証券

当JAは、平成30年3月期及び平成30年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	平成30年3月期			平成30年9月期		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	11,115	11,636	521	10,266	10,709	442
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	—	—	—	—	—	—
合 計	11,115	11,636	521	10,266	10,709	442

注1. 時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3 その他有価証券

(単位：百万円)

	平成30年3月期			平成30年9月期		
	取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差 額	取得原価または償却原価	貸借対照表計上額	差 額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	11,130	11,589	458	8,728	9,082	353
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	201	198	△ 2	3,493	3,445	△ 47
合 計	11,332	11,788	455	12,222	12,528	306

注1. 貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

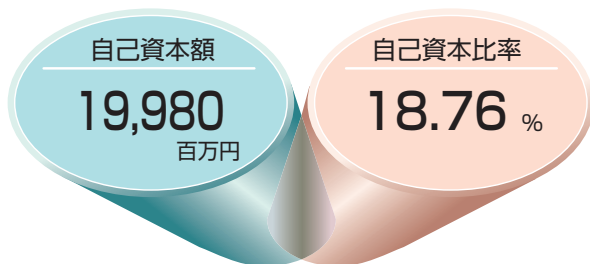
安心 その2

金融機関の経営健全性を示すバロメーター … 自己資本比率も充分です。

JA埼玉中央は、国内基準（4%）の4倍以上で、国際基準（8%）を上回る18.76%の自己資本比率と、123億円の内部留保（特別積立金）で、安定した経営を維持しています。

（単位：百万円、%）

H30. 9月期の自己資本の状況



	H30. 3月期	H30. 9月期
自己資本額	19,890	19,980
自己資本比率	18.87%	18.76%
余 裕 額	11,461	11,462

H30. 9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（H18.3.28金融庁・農林水産省告示第2号）に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はH30. 3月期の係数を用いて算出しています。（※オペレーショナルリスク相当額は717百万円です。）
余裕額は自己資本額の内、国際基準（8%）を上回る部分の金額となります。

安心 その3

不良債権に対する備えも充分です。

JA埼玉中央は、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

（単位：百万円、%）

債 権 区 分 と 保 全 状 況		H30. 3月期	H30. 9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		759	650
危 険 債 権		331	371
要 管 理 債 権		—	—
小 計 (A)		1,090	1,022
保 全 状 況	上記債権の担保・保証の額 (B)	675	610
	上記債権に対する貸倒引当金の額 (C)	396	394
	上記債権に対する保全率 (B+C) / (A)	98.2 %	98.2 %
正 常 債 権		37,857	37,741
合 計		38,948	38,763

注）H30.9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。
貸倒引当金については、キャッシュフローを行い、H30.3月期には19百万円、H30.9月期には17百万円を引いた金額を計上しています。

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権…（1）3ヶ月以上延滞債権＝元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更生債権等及び危険債権を除いた貸出債権です。
（2）貸出条件緩和債権＝経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更生債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

JA埼玉中央は、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま

うち組合員数 27,004人

※JAにおける「組合員」とは？

地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、懸賞品付定期貯金や公的年金お受取りの方を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

278,349百万円

出 資 金	2,339百万円
貯金・積金	278,349百万円

JA埼玉中央

常勤役員	6名
職員	484名
店舗数	24店
ATM設置台数	36台
営農経済センター	3店舗
ガソリンスタンド	8店舗
	(うちセルフ 7店舗)
直売所	10店舗 等

地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

38,379百万円

組 合 員	29,753百万円
地公体等	4,123百万円
そ の 他	4,503百万円

* 制度融資の実績

農業近代化資金 63百万円

* 農業支援融資商品

営農ローン/
JA農機ハウスローン etc.

* 個人向けローン、事業者向け融資
についても各種ご用意しています。

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

(1) 「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的、社会的貢献活動を展開しています。

(2) 利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3) のうきょうだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

[JA埼玉中央ホームページ]

<http://www.ja-sc.or.jp>

貸
出
金

支
援
サ
ー
ビ
ス

営
農
支
援

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のためJA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高	221,489百万円
有価証券残高	22,795百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、平成30年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※記載内容、商品についてご質問等がございましたら、お気軽にお声掛けください。

※貸出金残高には貸付留保金を控除しております。

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティネット」を構築し、組合員・利用者みなさまに、より一層の「安心」をお届けしています。

JAバンク・セーフティネット

破綻未然 防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

身近で便利 JA店舗

本 店 TEL 0493-22-4036
大岡支店 TEL 0493-39-1002
唐子支店 TEL 0493-22-3347
高坂支店 TEL 0493-34-3121
野本支店 TEL 0493-22-1733
滑川支店 TEL 0493-56-2255
嵐山支店 TEL 0493-62-2012
菅谷支店 TEL 0493-62-2003
小川支店 TEL 0493-72-1100
竹沢支店 TEL 0493-73-1872
八和田支店 TEL 0493-72-0558
都幾川支店 TEL 0493-65-1116

玉川支店 TEL 0493-65-1155
鳩山支店 TEL 049-296-1255
川島支店 TEL 049-297-1822
中山支店 TEL 049-297-1807
三保谷支店 TEL 049-297-1805
出丸支店 TEL 049-297-1810
小見野支店 TEL 049-297-1803
東吉見支店 TEL 0493-54-1541
南吉見支店 TEL 0493-54-1521
西吉見支店 TEL 0493-54-1531
北吉見支店 TEL 0493-54-1501
東秩父支店 TEL 0493-82-1241



組合員・利用者の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をお届けするための農協金融システムが「JAバンクシステム」です。このシステムに一体的に取組むJAバンク（JA・信連・農林中金）の金融店舗には、「JAバンク会員マーク」が掲示されております。

2018 上半期ディスクロージャー誌 平成30年11月製作
JA埼玉中央（埼玉中央農業協同組合）総務部
〒355-0011 東松山市加美町1番20号
TEL 0493-22-3321（代表）
【JAホームページ】<http://www.ja-sc.or.jp>

